

令和5年10月5日

課名	健康推進課
担当	池内、松岡、古山
内線	3472、3478、3476
直通	226-7331

「インフルエンザ注意報」を発令します

インフルエンザの患者発生数が増加し、第34週（8月21日から8月27日）には定点あたりの患者報告数が流行開始の目安である1を上回ったため（1.11人）、状況を注視してきたところ、定点あたりの患者報告数は増加傾向で推移しています。（第39週 5.50人）

そのため、さらなる流行拡大が懸念される状況と判断し、本日、県下全域に「インフルエンザ注意報」を発令し、次のとおり県民への注意喚起を図るとともに、本日10時30分から、保健医療部長室において、注意喚起の徹底と情報共有を図るために関係課連絡会議を開催します。

記

1 インフルエンザ流行下での注意事項

○予防と対策

基本的な感染防止対策

- ・咳エチケット、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ換え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける

健康的な日常生活

- ・十分な休養、バランスのとれた食事

あらかじめの備え

- ・早めのインフルエンザワクチンの予防接種

発熱等の症状が出た時は

- ・外出を控え、早めに医療機関を受診しましょう
- ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を
- ・水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう

2 注意喚起の方法

(1) マスメディアへの情報提供

(2) 保健所、関係機関等を通じた注意喚起

①学校、保育所、高齢者の入所施設等への注意喚起の徹底

②市町村への広報の依頼

(3) ホームページ等による広報の実施

健康推進課 (<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>)

感染症情報センター (<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>)

3 関係課連絡会議の開催（取材可）

(1) 出席者

保健医療部部長、保健医療統括監、保健医療部次長、新型コロナウイルス感染症対策監、保健医療部関係課室長、子ども・福祉部関係課室長、総務学事課長、保健体育課長、環境保健センター所長

(2) 議題

今シーズンの発生状況、インフルエンザウイルス検出状況、学校等の臨時休業の状況、流行期における対応等、インフルエンザワクチンの状況 等

(参考資料)岡山県のインフルエンザ注意報等の概要

専門家からの意見を聴取した上で、発令を判断する。

	注意報	警報
目的	県民の注意を喚起することで、予防及びまん延防止を図る。 (広く県民に周知をはかることで当該感染症の予防及びまん延防止を図る)	
基準	流行シーズン入り（患者の発生が定点医療機関当たり1人を超過） (H25年度まで) 流行初期（患者の発生が定点医療機関当たり5人を超過）	重症例の多発や著しい流行など特に緊急に注意喚起が必要なとき ・県全体で定点当たり30人を超過し、流行時期等から今後も患者増加の可能性がある場合 ・新型ウイルスが検出されるなど、まん延の拡大のおそれがある場合
発令区域	県下全域が基本	
発令内容	流行のピークに向けて、手洗いの励行などを呼びかける。	注意報よりさらに強く予防及び早期受診を呼びかける。
解除基準	2週連続して、定点当たり1人を下回った場合	2週連続して、定点あたり10人を下回った場合

※県内の内科・小児科84医療機関を定点に指定し、1週間の患者数を集計

過去の発令状況

年度	注意報発令日	警報発令日	定点当たり1人超
平成 25	平成 26 年 1 月 16 日		25 年第 52 週
平成 26	平成 26 年 12 月 11 日	平成 27 年 1 月 15 日	26 年第 49 週
平成 27	平成 28 年 1 月 14 日	平成 28 年 2 月 18 日	28 年第 1 週
平成 28	平成 28 年 12 月 1 日	平成 29 年 1 月 26 日	28 年第 47 週
平成 29	平成 29 年 12 月 7 日	平成 30 年 1 月 25 日	29 年第 48 週
平成 30	平成 30 年 12 月 13 日	平成 31 年 1 月 24 日	30 年第 49 週
令和元年	令和 1 年 11 月 28 日		令和元年第 47 週
令和 2 年			
令和 3 年			
令和 4 年	令和 5 年 1 月 6 日		令和 4 年第 52 週

※平成26年度から基準が変わり、「注意報」から「注意報（流行シーズン入り）」に変更

インフルエンザ注意報発令中！

○予防と対策

基本的な感染防止対策

- 咳エチケット、手洗い、手指消毒の実施
- 室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入換え
- 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける

健康的な日常生活

- 十分な休養、バランスのとれた食事

あらかじめの備え

- 早めのインフルエンザワクチンの予防接種

発熱等の症状が出た時は

- 外出を控え、早めに医療機関を受診しましょう
- 周りの方へうつさないように「咳エチケット」を
- 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう

